

目次

■ 巻頭言

- ・標準化と知財～イノベーションを推進する両輪～ 一般財団法人日本規格協会 理事長 揖斐 敏夫 04

■ IPMR フォーカス

- ・秘密情報／営業秘密マネジメントの実践
(2) 事例別「秘密情報の保護ハンドブック～企業価値向上に向けて～」の活用方法
経済産業省 経済産業政策局 知的財産政策室 06

■ フリーコンテンツ時代の情報リテラシー

- ・(Vol.7) 配車アプリで BMW に乗った 東京理科大学大学院イノベーション研究科教授 宮武 久佳 13

■ Column 知財の国際舞台から

- ・(Vol.12) 到達点と通過点 WIPO PCT 国際協力部部长 夏目 健一郎 14

■ 企業から大学に来てわかったこと

- ・(その8・完) 産学連携の未来 国立大学法人北海道大学 産学・地域協働推進機構
特任教授・弁理士・一級知的財産管理技能士(特許専門業務) 寺内 伊久郎 16

■ 知財の資格をビジネスに活かす！～音楽プロデューサーの現場から～

- ・(第7回)「JASRAC 音楽教室から著作権使用料徴収」問題から考える、これからの音楽著作権
音楽プロデューサー 山口 哲一 19

■ 知的財産アナリストレポート

- ・(Vol.6) デザイナーは発明をもデザインする—昨今のデザインブームを知財の観点で考察する—
三井化学株式会社 知的財産部 情報調査センターグループ AIPE 認定 知的財産アナリスト(特許) 内田 直樹 24

■ コラム「一期一会」

- ・(第20回・完) 特許適格主題(特許事由)を規定する 101 条の改正案発表される
最高裁の Mayo, Alice, Bilski 等の判決を破棄し、101 条本来の広い範囲に戻す画期的改正案
歴史的な法改正はあり得るか 米国特許弁護士 服部 健一 36

■ 投稿論文

- ・中国における商標の使用等の一考察
岡本特許事務所 所長・弁理士 一級知的財産管理技能士(特許・コンテンツ・ブランド専門業務) 岡本 智之 44
- ・知的資産経営報告書の活用の現状と課題—継続的な開示を中止した企業の事例研究—
広島大学大学院社会科学部 博士課程後期課程 虫明 千春 56

■ 知財世界の醍醐味

- ・(Vol.4) ホタテの係止具事件 水産会社勤務、一級知財技能士(特許専門業務)・弁理士 半蔵門伝次郎 66

■ シリーズ「企業に聞くー知財と標準化」

- ・(第2回)「キャズム(溝)に架ける橋としての規格化と特許」～株式会社オートマチックシステムリサーチ～

一般財団法人日本規格協会 マーケティングユニット 経営企画課長 福永 敬一 70

■ 知的財産と公証制度

- ・(第3回) 先使用権確保における公証制度活用の事例研究

株式会社プロパティ 小樽 信夫 TM3Japan 宮川 忠之 76

- ・(第4回・完) 外国出願と認証について

知財技能士 公証制度活用研究会 宮澤・伊東 82

■ 中小企業のための知財関連情報

- ・中国経済産業局特許室及び実施事業のご紹介

経済産業省 中国経済産業局 地域経済部 産業技術連携課 特許室 特許室長 大谷 孝一郎 88

- ・知的財産教育協会 中小企業センター 2016年度の活動中間報告

知的財産教育協会 中小企業センター ワーキンググループ 池田 香代子 92

■ 知財関連省庁からのお知らせ

- ・意匠分野の国際協力が始動します～日米欧中韓の意匠五庁が協力プロジェクトに合意しました～

特許庁 審査第一部 意匠課/特許庁 総務部 国際協力課 98

- ・知的財産政策室の取組みについて

経済産業省 経済産業政策局 知的財産政策室 100

- ・地域・中小企業のための特許庁知財支援策について 平成29年度支援策を紹介します

特許庁 総務部 普及支援課 榎口 豊 102

- ・知的財産教育協会からのお知らせ

104

(AD Index) デジタルハリウッド大学院 表2/

東京コンテンツプロデューサーズ・ラボ 23/株式会社ネオテクノロジー23/

- ・バックナンバーのご案内

107

ランドン IP 合同会社 55/吉備国際大学 75/株式会社アップロード 81/

株式会社パテントテック社 97/株式会社レイテック 97/K.I.T.虎ノ門大学院 表3

* 「重要知財判例評釈」「実践!交渉学」は次号掲載予定です

ASSOCIATION OF
INTELLECTUAL PROPERTY
EDUCATION
